

貴陽縣本草志

一九三九年九月廿二日
于上海

主委會安當ナルコ書之答へ、并上與二君實問極切。其討論終結ノ動議提出者之主對之責否。其論起後討論又續行スルニ止ム。士リ。

一政治的意見ハ第三次のヘルトスニ考ベテヨ但云フ菊川氏ノ意見ニ知ル久が今日左實際問題トシテ取扱ツテ菊川氏ノ意見ヲ可ナ
ムト清利キ勝カニハ第十二問題ニナルノハ勞動運動ノ分野デアル
現在主要ナ問題合ハ一七八アルガソノマニヲ除外ハ殆ンド右翼
的傾向ヲ帶びテ居ル。一方シ外分野ニ立ツテ居ルノ死カラ右翼的
傾向ヲ看過セナ仕限財戰線統一ハ出來ヌノダカニ全體勞動ハソノ
方間ノ見透ツケ方之ニ感ズル技術ヲ必要トスル右ガヨイカ左ガ
ヨイカヘ別闇趣トシテ全國勞動の方針ヲ頗慮シテ進ムベキデアル
至月源治君アリサモタクンベ事ラシモテヨリ其の後タムニテヨリ